

7003
7005-1

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル新聞紙法ヲ設可シ茲ニ之ヲ公
布セシム

御 名 御 璽

明治四十二年五月五日

内 閣 總 理 大 臣
外 務 大 臣
内 務 大 臣
陸 軍 大 臣
海 軍 大 臣
司 法 大 臣

法律第四十一號

新聞紙法

第一條 本法ニ於テ新聞紙ト稱スルハ一定ノ編號ヲ用キ
時期ヲ定メ又ハ六箇月以內ノ期間ニ於テ時期ヲ定メス
シテ發行スル著作物及定時期以外ニ本著作物ト同一題
號ヲ用キテ臨時發行スル著作物ヲ謂フ同一題號ノ新聞
紙ヲ他ノ地方ニ於テ發行スルトキハ各別題ノ新聞紙ト
看做ス

第二條 左ニ掲クル者ハ新聞紙ノ發行人又ハ編輯人タル

コトヲ得ス

一 本法ヲ施行スル帝國領土内ニ居住セサル者

二 陸海軍軍人ニシテ現役若ハ召集中ノ者

三 未成年者、禁治産者及準禁治産者

四 懲役又ハ禁錮ノ刑ノ執行中又ハ執行猶豫中ノ者

第三條 印刷所ハ本法ヲ執行スル帝國領土外ニ之ヲ設

クルコトヲ得ス

第四條 新聞紙ノ發行人ハ左ノ事項ヲ内務大臣ニ届出

ツヘシ

一 題 號

二 掲載事項ノ種類

三 時事ニ關スル事項ノ掲載ノ有無

四 發行ノ時期、若時期ヲ定メサルトキハ其ノ旨

五 第一回發行ノ年月日

六 發行所及印刷所

七 持主ノ氏名、若法人ナルトキハ其ノ名稱及代表者ノ氏名

八 發行人、編輯人及印刷人ノ氏名年齢但シ編輯人二人以上アルトキハ其ノ主トシテ編輯事務ヲ擔當スル者ノ氏名年齢

前項ノ届出ハ持主又ハ其ノ法定代理人ノ連署シタル
登面ヲ以テシ第一回發行ノ日ヨリ十日以前ニ管轄地

方官廳ニ差出スヘシ

第五條 前條第一項第一號乃至第三號ノ事項ノ變更ハ
變更ノ日ヨリ十日以前ニ第四號若ハ第六號ノ事項又
ハ持主、編輯人、印刷人ノ變更ハ變更前又ハ變更後
七日以内ニ前條ノ手續ニ依リ發行人ヨリ之ヲ内務大
臣ニ届出ツヘシ但シ持主變更ノ届出ニハ死亡ニ因ル
場合ノ外新舊持主又ハ其ノ法定代理人ノ連署ヲ要ス

第六條 死亡シ又ハ第二條ニ該當スルニ至リタル發行
人ノ權利及義務ヲ承継シタル發行人ハ其ノ發行人ト
爲リタル日ヨリ七日以内ニ前條ノ手續ヲ爲スヘシ
前項ノ場合ノ外發行人ノ變更ハ變更ノ日ヨリ十日以
前ニ前條ノ手續ヲ爲スヘシ

第七條 新聞紙ハ届出ヲ爲シタル發行時期又ハ發行休
止ノ日ヨリ起算シテ百日間、三回發行ノ期間ヲ過シ
テ百日ヲ超ユル新聞紙ニ在リテハ三回發行ノ期間之
ヲ發行セサルトキハ其ノ發行ヲ廢止シタルモノト看
做ス

第八條 發行人若ハ編輯人死亡シ又ハ第二條ニ該當ス
ルニ至リ後任ノ發行人若ハ編輯人ヲ定メサル間又ハ
發行人若ハ編輯人一箇月以上本法ヲ施行スル帝國領
土外ニ發行スル場合ニ於テハ假發行人若ハ假編輯人
ヲ設クルニ非サレハ新聞紙ノ發行ヲ爲スコトヲ得ス

發行人及編輯人ニ關スル本法ノ規定ハ假發行人及假編輯人ニ之ヲ準用ス

第九條 編輯人ノ責任ニ關スル本法ノ規定ハ左ニ振クル者ニ之ヲ準用ス

- 一 編輯人以外ニ於テ實際編輯ヲ擔當シタル者
- 二 掲載ノ事項ニ署名シタル者
- 三 正誤表、辯駁表ノ事項ニ付テハ其ノ掲載ヲ請求シタル者

第十條 新聞紙ニハ發行人、編輯人、印刷人ノ氏名及發行所ヲ掲載スヘシ

第十一條 新聞紙ハ發行ト同時ニ内務省ニ二部、管轄地方官廳、地方裁判所檢察局及區裁判所檢察局ニ各一部ヲ納ムヘシ

第十二條 時事ニ關スル事項ヲ掲載スル新聞紙ハ管轄地方官廳ニ保證トシテ左ノ金額ヲ納ムルニ非サレハ之ヲ發行スルコトヲ得ス

- 一 東京市、大阪市及其ノ市外三里以內ノ地ニ於テハ二千圓
- 二 人口七萬以上ノ市又ハ區及其ノ市又ハ區外一區以內ノ地ニ於テハ千圓
- 三 其ノ他ノ地方ニ於テハ五百圓

前項ノ金額ハ一箇月三回以下發行スルモノニ在リテハ其ノ半額トス保證金ハ命令以テ定ムル金額ノ有様

證券ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

第十三條 保證金ニ對スル權利及義務ハ發行人變更ノ
場合ニ於テ後任發行人之ヲ承繼スルモノトス

第十四條 保證金ハ發行ヲ廢止シタルトキニ非サレハ
其ノ還附ヲ請求シ又ハ其ノ債權ヲ讓渡スルコトヲ得
ス但シ國稅徵收法及之ヲ準用スル法令ヲ適用シ又ハ
名譽ニ對スル罪ニ因ル損害賠償ノ判決ヲ執行スルハ
此ノ限ニ在ラス

第十五條 保證金ヲ納ムル新聞紙ニ關シ發行人又ハ編
輯人罰金又ハ刑事訴訟費用ノ言渡確定ノ日ヨリ十日
以内ニ之ヲ完納セサルトキハ檢察官ハ保證金ノ全部又
ハ一部ヲ之ニ充ツルコトヲ得

第十六條 保證金ハ其ノ圓領ヲ生シタル場合ニ於テ之
ヲ償還スルニ非サレハ其ノ新聞紙ヲ發行スルコトヲ
得ス但シ圓領ヲ生シタル日ヨリ七日以内ハ此ノ限リ
ニ在ラス

第十七條 新聞紙ニ掲載シタル事項ノ錯誤ニ付其ノ事
項ニ關スル本人又ハ直接關係者ヨリ正誤又ハ正誤書、
辯駁書ノ掲載ヲ請求シタルトキハ其ノ請求ヲ受ケタ
ル後次回又ハ第三回ノ發行ニ於テ正誤ヲ爲シ又ハ正
誤書、辯駁書ノ全文ヲ掲載スヘシ

正誤、辯駁ハ原文ト同體ノ活字ヲ用ウヘシ

正誤、辯駁ノ旨法令ニ違反スルトキ又ハ請求者ノ

氏名住所ヲ明記セサルトキハ之ヲ掲載スルコトヲ要
セス

正誤書、勘誤書ノ字數原文ノ字數ヲ超過シタルトキ
ハ其ノ超過ノ字數ニ付發行人ノ定メタル普通廣告料
ト同一ノ料金ヲ要求スルコトヲ得

第十八條 官報又ハ他ノ新聞紙ヨリ抄録セシ事項ニシ
テ官報又ハ新聞紙ニ於テ正誤シ又ハ正誤書、勘誤書
ヲ掲載シタルトキハ本人又ハ直接ニ係者ノ請求ナシ
ト雖其ノ官報又ハ新聞紙ヲ得タル後前條ノ例ニ依リ
正誤書、勘誤書ヲ掲載スヘシ但シ料金ヲ要求スルコ
トヲ得ス

第十九條 新聞紙ハ公判ニ付スル以前ニ於テ豫審ノ内
容其ノ他檢察ノ差止メタル捜査又ハ豫審中ノ被告事
件ニ關スル事項又ハ公開ヲ停メタル訴訟ノ辯論ヲ掲
載スルコトヲ得ス

第二十條 新聞紙ハ官署、公署又ハ法令ヲ以テ組織シ
タル議會ニ於テ公ニセサル文書又ハ公開セサル會議
ノ議事ヲ許可ヲ受ケスシテ掲載スルコトヲ得ス諸事
登又ハ縣圖書ニシテ公ニセラレサルモノ亦同シ

第二十一條 新聞紙ハ犯罪ヲ煽動若ハ凶犯シ又ハ犯罪
人若ハ刑事被告人ヲ賞恤若ハ救護シ又ハ刑事被告人
ヲ陷害スルノ事項ヲ掲載スルコトヲ得ス

第二十二條 第四條乃至第六條ノ圖出ヲ爲サス若ハ圖

出ヲ爲スモ實ヲ以テセス又ハ保證金ヲ納メ若ハ之ヲ
 填補スヘキ場合ニ於テ之ヲ納メ若ハ之ヲ填補セスシ
 テ發行シタルトキハ正當ノ届出ヲ爲シ又ハ保證金ヲ
 納メ若ハ之ヲ填補スル迄管轄地方官廳ニ於テ新聞紙
 ノ發行ヲ差止ムヘシ

第二十三條 内務大臣ハ新聞紙掲載ノ事項ニシテ安寧
 秩序ヲ紊シ又ハ風俗ヲ害スルモノト認ムルトキハ其
 ノ發賣及頒布ヲ禁止シ必要ノ場合ニ於テハ之ヲ差押
 フルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ内務大臣ハ同一主旨ノ事項ノ掲載
 ヲ差止ムルコトヲ得

第二十四條 内務大臣ハ外國若ハ本法ヲ施行セサル
 帝國領土ニ於テ發行シタル新聞紙掲載ノ事項ニシテ
 安寧秩序ヲ紊シ又ハ風俗ヲ害スルモノト認ムルトキ
 ハ其ノ本法施行ノ地域内ニ於ケル發賣及頒布ヲ禁止
 シ必要ナル場合ニ於テハ之ヲ差押フルコトヲ得
 新聞紙ニ對シ一年以内ニ二回以上前項ノ處分ヲ爲シ
 タルトキハ内務大臣ハ其ノ新聞紙ヲ本法施行ノ地域
 内ニ輸入又ハ移入スルヲ禁止スルコトヲ得

第二十五條 前條第二項ニ依ル禁止ノ命令ニ違反シテ
 輸入又ハ移入シタル新聞紙及第四十三條ニ依ル禁止
 ノ裁判ニ違反シテ發賣又ハ頒布スルノ目的ヲ以テ印
 刷シタル新聞紙ハ管轄地方官廳ニ於テ之ヲ差押フル
 コトヲ得

第二十六條 本法ニ依リ差押ヘタル新聞紙ニシテ二年
以上其ノ差押ヲ解除セラレサルトキハ差押ヲ執行シ
タル行政官廳ニ於テ之ヲ處分スルコトヲ得

第二十七條 陸軍大臣、海軍大臣及外務大臣ハ新聞紙
ニ對シ命令ヲ以テ軍事若ハ外交ニ關スル事項ノ掲載
ヲ禁止シ又ハ創刊スルコトヲ得

第二十八條 第二條ニ該當スル者ニシテ事實ヲ詐リ發
行人又ハ編輯人ト爲リタルトキハ三月以下ノ懲役又
ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十九條 第三條ニ違反シタル者ハ三百圓以下ノ罰
金ニ處ス

第三十條 第四條乃至第六條ノ圖出ヲ爲サス若ハ圖
出ヲ爲スモ實ヲ以テセシ又ハ第四條第一項第一號、
第四條乃至第六條ニ關シ圖出ノ事項ニ違反シタル行
爲ヲ爲シ又ハ第十一條ニ違反シタルトキハ發行人ヲ
百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第三十一條 第四條第一項第二號又ハ第三號ニ關シ圖
出ノ事項ニ違反シタル行爲ヲ爲シタルトキハ發行人
及編輯人ヲ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第三十二條 第八條第一項ニ違反シタルトキハ發行人
死亡シ又ハ第二條ニ該當スルニ至リタル場合ニ於テ
ハ實際發行ヲ爲シタル者、其ノ他ノ場合ニ於テハ發行
人ヲ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第三十三條 第十條ニ違反シ又ハ掲載ニ當ラ以テセサル
トキハ發行人及編輯人ヲ百圓以下ノ罰金又ハ科料
ニ處ス

第三十四條 第十二條第一項、第二項、第十六條ニ違
反シ又ハ第二十二條ニ依ル差止ノ命令ニ違反シタル
トキハ發行人ヲ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十五條 第十七條第一項、第二項又ハ第十八條ニ
違反シタルトキハ編輯人ヲ三十圓以下ノ罰金又ハ科
料ニ處ス

前項ノ罪ハ私事ニ係ル場合ニ於テ告訴ヲ待テ之ヲ處
ス

第三十六條 第十九條、第二十條ニ違反シタルトキハ
編輯人ヲ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十七條 第二十一條ニ違反シタルトキハ編輯人ヲ
三月以下ノ禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十八條 第二十三條ニ依ル禁止若ハ差止ノ命令、
第二十四條ニ依ル禁止ノ裁免ニ違反シタルトキハ發
行人、編輯人ヲ六月以下ノ禁錮又ハ三百圓以下ノ罰
金ニ處ス情ヲ知リテ其ノ新聞紙ヲ發賣又ハ頒布シタ
ル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十九條 第二十三條第一項、第二十四條第一項、
第二十五條ニ依ル差押處分ノ執行ヲ妨害シタル者ハ
六月以下ノ禁錮又ハ三百圓以下ノ禁錮又ハ三百圓以

下ノ罰金ニ處ス

第四十條 第二十七條ニ依ル禁止又ハ制限ノ命令ニ違
反シタルトキハ發行人、編輯人ヲ二年以下ノ禁錮又
ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十一條 安寧秩序ヲ紊シ又ハ風俗ヲ害スル事項ヲ
新聞紙ニ掲載シタルトキハ發行人、編輯人ヲ六月以
下ノ禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十二條 皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆シ政體ヲ變更シ又ハ朝
政ヲ紊亂セムトスルノ事項ヲ新聞紙ニ掲載シタルト
キハ發行人、編輯人、印刷人ヲ二年以下ノ禁錮及三
百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十三條 第四十條乃至第四十二條ニ依リ處罰スル
場合ニ於テ裁判所ハ其ノ新聞紙ノ發行ヲ禁止スルコ
トヲ得

第四十四條 本法ニ定メタル犯罪ニハ刑法併合罪ノ規
定ヲ適用セス

第四十五條 新聞紙ニ掲載シタル事項ニ付右譽ニ對ス
ル罪ノ公訴ヲ提起シタル場合ニ於テ其ノ私行ニ涉ル
モノヲ除クノ外裁判所ニ於テ惡意ニ出テス事ヲ公益
ノ爲ニスルモノト認ムルトキハ被告人ニ事實ヲ證明
スルコトヲ許スコトヲ得若シ其ノ證明ノ確立ヲ得タル
トキハ其ノ行爲ハ之ヲ罰セス公訴ニ關聯スル損害賠
償ノ訴ニ對シテハ其ノ裁量ヲ免ル

附 則

新聞紙條例ハ之ヲ廢止ス

本法施行前ヨリ發行スル新聞紙ニシテ本法ノ規定ニ依
リ保證金ニ關シテ生スルニ至リタルトキハ本法施行ノ
日ヨリ三年間其ノ填補ヲ命ぜらる第二十六條ノ規定ハ本
法施行前ノ法律ニ依ル新聞紙ニ之ヲ準用ス